

刊行にあたって

○「敗者」の視点から  
浮かび上がる、もう一つの歴史

○時代を動かした

合戦・政争・戦争と

その「敗者」の実像を再発見

○第一線の執筆者が  
最新の研究成果をもとに平易に描く

○時代ごとに  
勝者と敗者を読み解く  
総論巻を収めたシリーズ編成

○臨場感溢れる豊富な本文図版や、  
巻頭力ラーメン・

主要参考文献を掲載

歴史は「勝者」と「敗者」を同時に生み出しながら紡がれてきた。  
両者の差とは何だったのか。敗者は負けるべくして負けたのか。  
大化革新から源平争乱、戦国時代を経て太平洋戦争まで、  
史実を前提とした「必然の敗因」では捉えられない  
敗者の実像に鋭く迫る。「勝者の歴史」に一石を投じ、  
もう一つの豊かな歴史像を浮かび上がらせる新シリーズ創刊。

四六判・上製・カバー装・平均二六〇頁予定

予価各2730円

第1回配本（9月発売）



## ⑥ 承久の乱と後鳥羽院

関 幸彦著

2730円

978-4-642-06452-1

⑦ 箱館戦争と榎本武揚  
⑧ ポツダム宣言と軍国日本  
⑨ 小田原合戦と北条氏

関 幸彦著  
榎本武揚著  
古川隆久著  
黒田基樹著

（10月刊行）  
（11月刊行）  
（12月刊行）



吉川弘文館

〒113-0033 東京都文京区本郷7-2-8 http://www.yoshikawa-k.co.jp/ 128  
電話03-3813-9151（代表）／FAX03-3812-3544／振替00100-5-244（価格5%税込）

『敗者の日本史』全20巻を（ ）セット注文します。

●第（ ）巻を（ ）冊注文します。

お名前 \_\_\_\_\_ お電話 \_\_\_\_\_

ご住所 \_\_\_\_\_ 〒 \_\_\_\_\_

【企画編集】  
関 幸彦  
(日本大学教授)  
山本博文  
(東京大学史料編纂所教授)

現代日本では、経済的な格差が大きくなり、勝ち組と負け組がはっきりとした社会になつたといわれ、格差は政治の喫緊の課題として声高に呼ばれています。しかし、歴史をみていくと、その尺度は異なるものの、どの時代にも政争や戦乱、個対個などのさまざまな場面で、いざれ勝者と敗者となる者たちがしげを削つていてました。歴史の結果からは、ややもすると勝者は時代を切り開く力を躍動的に伸ばし、敗者は旧体制を背負つていたがために必然的に敗れさつた、という二項対立的な見方がなされることがあります。はたして歴史の実際は、そのようになります。はたして歴史の「必然」だけではなく、これまでの歴史の見方とは違う、豊かな歴史像を描き出すことで、歴史の面白さを伝えることができると言えています。

また、敗北を境として勝者の政治や社会に、敗者の果たした意義や価値観などが変化しながらも受け継がれていくことがあったと思われます。それがどのようなものであるのかを明らかにし、勝者の歴史像にはみられない日本史の姿を、本シリーズでは描いていきたいと存じます。

二〇一二年九月

吉川弘文館

“負、からこそ見える  
歴史がある！”

なぜ敗れたのか？  
新たな視点で豊かな歴史像を築くシリーズ！

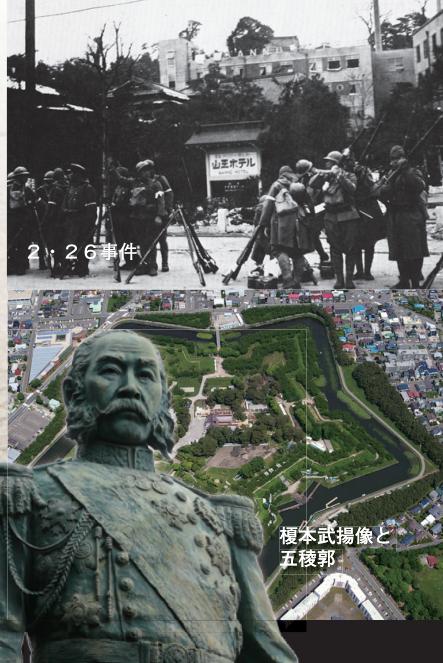
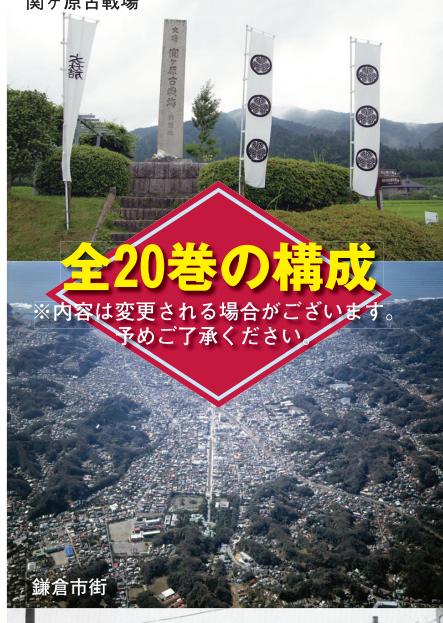
2012年9月  
刊行開始

吉川弘文館

# 敗者の日本史 全20巻

大化革新・源平争乱・関ヶ原合戦・赤穂事件・戊辰戦争・太平洋戦争…。

吉川弘文館



榎本武揚像と五稜郭

## ⑥承久の乱と後鳥羽院

関 幸彦著

2730円

978-4-642-06452-1

鎌倉と京、公武権力構図の転換点とされる承久の乱。治天の君・後鳥羽院が歌に込めた「道ある世」への希求とは何だったのか。諸史料を中心に、協調から武闘路線への道をたどり、隠岐に配流された後鳥羽院のその後にも迫る。

## ⑯箱館戦争と榎本武揚

樋口 雄彦著

978-4-642-06463-7

戊辰戦争最後の激戦となつた箱館戦争。新政府軍と戦い敗れた榎本武揚ら旧幕臣たちは、維新後の「明治」をどのように生き抜いたのか。国家の将来に心を砕き、日本の近代化に多大な役割を果たした「敗者」たちの後日譚。

## ⑰ポツダム宣言と軍国日本

古川 隆久著

978-4-642-06466-8

ポツダム宣言を受諾、再出発した「敗者」日本。軍国化への道と太平洋戦争の敗北から何を学ぶことができるのか。最新の研究成果を駆使して敗因を分析し、そこから得た教訓が戦後日本にいかなる影響を与えたのかを探る。

## ⑯小田原合戦と北条氏

黒田 基樹著

978-4-642-06456-9

総構えの威容を誇った難攻不落の小田原城。全国統一をめざす秀吉政権に、小田原北条氏はなぜ最後まで抵抗し敗れたのか。信長時代から継承された天下人の政策「関東惣無事」の実態に迫り、「小田原合戦」の意味を探る。

## ⑮赤穂事件と四十六士

山本 博文著

※毎月1冊ずつ配本予定

遠山 美都男著  
『続刊』

## ⑯大化改新と蘇我氏

瀧浪 貞子著



今 正秀著

## ⑭古代日本の勝者と敗者

荒木 敏夫著

元木 泰雄著

## ⑮治承・寿永の内乱と平氏

五野井 隆史著

## ⑯島原の乱とキリシタン

筒井 清忠著

## ⑰大坂の陣と豊臣秀頼



曾根 勇二著

## ⑱関ヶ原合戦と石田三成

矢部 健太郎著

## ⑲一・二六事件と青年将校

筒井 清忠著

## ⑳西南戦争と西郷隆盛

落合 弘樹著

## ㉑西郷隆盛像

大石 学著

## ㉒西郷隆盛と西郷隆盛

大石 学著

## ㉓西郷隆盛像